

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルフレいなぎ 児童発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	2024年10月15日		～ 2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2024年10月15日		～ 2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問園の方針を大切に、園の環境の中で取り組めることを先生方と一緒に考えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス開始前に、訪問園の方針等を聞いている</li> <li>一方的な助言ではなく、訪問園の先生方と一緒に考える姿勢を大切にしている</li> <li>保護者の思いも丁寧に聞き取り、保護者とも一緒に考える姿勢を大切にしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問園の先生方との振り返りでは、より先生方の思いを聞くことを大切にしている</li> <li>児童発達支援事業を利用している場合は、先生方の見学も積極的に受け入れ、実際の支援や工夫、環境調整を見てもらう</li> </ul>
2	こどもの言動や様々な表現の背景にある意味を捉え、訪問園の先生方に伝えることで、こどもの理解につながるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもをどう理解するかを大切にしている</li> <li>こどもの言動の意味を伝えるようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して、こどもの言動の意味を伝えていく</li> <li>児童発達支援事業を利用している場合は、先生方の見学も積極的に受け入れる</li> </ul>
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援事業のサービスを利用されているお子さんが多いため、児童発達支援事業で取り組むことと保育所等訪問支援事業で取り組むことをより明確にし、総合的にこどもの育ちを支援すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>アセスメントや支援計画作成時に、児童発達支援事業の担当者との話し合いができていないこともある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問毎に行う情報共有に加え、アセスメントや支援計画作成時には児童発達支援事業の担当者とそれぞれの事業で取り組むところを話し合い、明確にする</li> </ul>
2	訪問支援員同士の情報共有や相談などの連携が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問支援員が担当制であるため、こどもの情報共有をする機会が少なかった</li> <li>日常的には相談しているが、会議などの時間を設けていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に訪問支援員同士の話し合いの機会を設け、支援内容や訪問園への助言の仕方などを共有・相談し、支援の質を高める</li> </ul>
3			